

薬史学会通信

No.39 2005年2月

〒113-0032
東京都文京区弥生2-4-16
(財)学会誌刊行センター内
日本薬史学会事務局
Phone (03) 3817-5821
FAX (03) 3817-5830

日本薬史学会 '05(平成17)年度総会 講演会のお知らせ

と き 2005(平成17)年4月23日(土)
ところ 東京大学薬学部総合研究棟講堂(文京区本郷)

-
- 11:30～ 評議員会(別途御案内)
- 13:30～ 総 会
- 14:00～ 総会講演(入場無料・来聴歓迎)
伝統・代替医療興隆のデターミナント
東大大学院薬学系研究科医薬経済学 客員教授
日本薬史学会・副会長 津谷喜一郎
薬学系大学院の教育研究50年の再考
日本薬史学会・会 長 山川 浩司
- 18:00～ 懇親会：東京大学・山上会館(会費：4,000円)

平成17年度 日本薬史学会会費 前納お願い

一般会費：(年) 5,000円
学生会費：(年) 2,000円

振替口座 00120-3-67473 日本薬史学会

日本薬史学会2005(平成17)年会(札幌) 予告・研究発表演題の募集

日 時：平成17年10月1日(土)

会 場：札幌市教育文化会館4階講堂(札幌市中央区北1条西13丁目)

主 催：日本薬史学会・北海道薬剤師会(共催)

研究発表：口頭発表、1演題20分

申込方法：研究発表演題、研究者の氏名(発表者には○印)と所属、連絡先住所を記した書類に申込受理返信用の官製はがき(返信先住所記載のこと)を添えて、下記の申込先に郵送して下さい。論文要旨記述用の所定の用紙などをお送りします。なお、発表者は日本薬史学会会員に限ります。

発表申込の締切：6月10日(金)(必着)

要旨提出の締切：8月26日(金)(必着)

参加費：1,000円(学生無料)

懇親会：年会終了後、会費・4,000円(会場：厚生年金会館。中央区北1条西12丁目)

見学会：翌2日(日)。札幌、小樽地区にある歴史的建造物、博物館などの見学ツアーを計画しています。札幌コースと小樽コースを設け、朝10時頃から午後4時頃までとし、千歳空港で解散します。但し、一定の人数が集まらない場合は中止となります。詳細は次回にご案内致します。

申込先：(社)北海道薬剤師会 日本薬史学会年会事務局(高橋)
〒062-8631 札幌市豊平区平岸1条8丁目5番12号
電話：(011)811-0184(代) Fax：(011)831-2412

日本薬史学会2005(平成17)年会 実行委員会

顧問：伊藤 敬一、高島 申治、大森 章、山川 浩司

実行委員長：齋藤 元護

同副委員長：高田 昌彦**、東洋 彰宏

同委員：菅原 泰己*、吉沢 逸雄*、古川 薫、向山 侑、武田 昌之、竹内 伸仁、
志賀 隆博、高橋 保志*、斉藤 浩司、本間 克明、傳野 肇子、早勢 伸正

監事：千葉 博志、遠藤 一司

**事務局長 *事務局次長

平成17年2月12日

日本薬史学会創立五十周年記念事業募金報告

日本薬史学会事務局

本会は標記の募金について平成16年度の総会で承認され、薬史学会通信No. 37に標示した募金趣意書のもとに募金活動（壱口 2,000円）を実施しました所、会員、賛助会員および会員外の方々から多大なご支援を得ました。ここに本募金のご報告をさせていただきます。改めて会員および賛助会員の各位に深甚の感謝を申し上げます。本事業としては既に「日本薬史学会五十年史」を刊行し、また平成16年10月16日に東京大学大学院薬学研究棟講堂で本会の創立五十周年記念会を開催しました。

日本薬史学会創立五十周年募金総額

金・ 1, 942, 000円（平成17年2月12日現在）

募金協力者（アイウエオ順）

ウチダ和漢薬（株）様、エーザイ（株）様、内藤記念くすり博物館様、三共（株）様、塩野義製薬（株）様、中室会員令夫人様、医薬史蹟ガイド印税、

（以上、五拾口以上：賛助会員、他）

相見則郎様、青木充夫様、秋元健様、天野宏様、雨宮昌男様、石坂哲夫様、石田純郎様、井上健夫様、海老塚豊様、大橋清信様、小川通孝様、奥井登美子様、（株）カイノス様、金岡祐一様、川瀬清様、北川勲様、北辻律子様、木村孟淳様、喜谷喜徳様、久保一角様、五位野政彦様、斎藤元護様、酒井シヅ様、塩原仁子様、篠田愛信様、柴田承二様、末廣雅也様、杉山茂様、高木英一様、高橋文様、高島英伍様、滝戸道夫様、田端幸子様、竹中祐典様、竹原潤様、辰野高司様、辰野美紀様、津谷喜一郎様、帝国製薬様、富永義則様、中村輝子様、服部昭様、ハリマ漢方製薬様、播磨章一様、福島紀子様、船越清輔様、平安堂薬局様、松波紀子様、松本和男様、松本力様、真柳誠様、三澤美和様、水野瑞夫様、宮崎正夫様、宮本法子様、山川浩司様、山崎幹夫様、山田健二様、山田光男様、山本穰令夫人様、養命酒製造（株）様、吉岡信様、吉崎正雄様、吉澤逸雄様、米田該典様、渡邊彦様、匿名二名、（以上、五口以上）

飯田剛一様、飯沼宗和様、伊佐幸雄様、石坂久夫様、石原理年様、井口右子様、井山温子様、岩井勝正様、岩崎由雄様、遠藤浩良様、大野善雄様、奥田潤様、小原正明様、海保房夫様、金久保好男様、金子力様、金山一様、神田和正様、岸本良彦様、小曾戸洋様、後藤志朗様、小松喜子様、小山和郎様、斎藤直太郎様、佐々木昌志様、佐々木宏子様、新開利治様、菅谷愛子様、鈴木利根子様、高橋まり子様、高屋佳子様、寺澤孝明様、徳久和夫様、中川富士雄様、中島美智子様、中村健様、中村美鈴様、半井英江様、南雲清二様、名取信策様、西井易穂様、馬場芳子様、濱田清様、半谷真七子様、船山信次様、前川正明様、松井英一様、松井孝司様、満生禎次郎様、松本卓也様、御影雅幸様、三宅康夫様、宮崎啓一様、山内盛様、山下光男様、山田光胤様、渡邊厚様、学術広告社様、（以上、壱口以上）

〔会告〕

2004(平成16)年度 臨時評議員会・総会報告

04(平成16)年10月16日、東大薬学部総合研究棟講堂での研究発表開催時、昼食休憩を挟んで表記の会が、正・副会長人事及び北海道支部結成、次年度秋の年会開催(札幌市)に関する案件を主な議題として、開催されました(研究発表午前の部終了に続き臨時評議員会・午後の部の直前に臨時総会)。

正副会長人事については、予てより柴田会長が若返りを希望されていた事に対する内容で、本会50周年記念事業並びに年末開催の医史学会・歯科医史学会・獣医史学会・薬史学会共同主催の研究會終了まで現体制で経過し

たい、との本学会員大方の希望に沿って下記のように提案・決定されました。

記

○柴田承二会長・辰野高司副会長の任期を、04(平成16)年末迄とする。

○05(平成17)1月1日から、山川浩司会長、津谷喜一郎副会長を委嘱する。

次いで北海道支部結成(斎藤元護支部長)の提案が決定され、次年度年会など前頁記載の内容につき紹介・了承されました。

以上

日本薬学会 第125年会行事ご案内

会期：05年3月29日(火)～31日(木)

会場：東京・有明「東京ビッグサイト」

交通：東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場」下車または

「新交通」ゆりかもめ「国際展示場正門下」下車

薬史学関係研究発表

ポスター展示 31日 9時…………… 3・4ホール

説明時間帯について・発表番号のうち 奇数番号は 12:00～13:00

偶数番号は 13:00～14:00

- 31-1161 日向薬事始め(その2) — 賀来飛霞と延岡藩での採薬—
○岩井 勝正、井本 真澄、宇佐見則行、山本 郁男(吉田病院薬、九州保福大薬)
- 31-1162 医薬品添付文書の比較 — 1950年代と2000年代(その4) 英仏アラビア語併記の例
○五位野政彦(東京海道病院薬)
- 31-1163 牛病新書に関する研究
○白井 一城、林 俊介、松井 桃子、高倉 弘士、宮本 如奈、乾 真由美、
畠山 有里(北陸大薬、生野高、富田林高、府立農芸高、東住吉高、立命館大産業
社会、長崎大薬)
- 31-1164 医心方にみられる典籍について
○塩原 仁子、伊田 喜光(昭和大薬)
- 31-1165 星一と後藤新平の親交とその運命
○三澤 美和(星薬大・薬理)